

観光施策の年次レポート 2015- 2018

石垣市企画部観光文化スポーツ局観光文化課

目 次

『観光施策の年次レポート』の目的

平成22年に策定された『石垣市観光基本計画』の推進を図り、諸施策の進捗状況及び各年次の観光施策に対して関連する各分野や立場（石垣市観光開発審議会）からの評価を受けること。また『観光施策の年次レポート』として公表することを目的として作成します。

I 石垣市観光基本計画の進捗状況

1. 基本目標・目標フレーム・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
2. 進捗状況チェックリスト・・・・・・・・・・・・・・・・・・2-6

II 2015（平成27年度）

1. 観光入域客統計（平成27年）・・・・・・・・・・・・・・・・7
2. 平成27年度観光施策の成果・・・・・・・・・・・・・・・・8

III 2016（平成28年度）

1. 観光入域客統計（平成28年）・・・・・・・・・・・・・・・・9
2. 平成28年度観光施策の成果・・・・・・・・・・・・・・・・10-11

IV 2017（平成29年度）

1. 観光入域客統計（平成29年）・・・・・・・・・・・・・・・・12
2. 平成29年度観光施策の成果・・・・・・・・・・・・・・・・13-14

V 2018（平成30年度）

1. 平成30年度主な事務事業の執行方針・・・・・・・・・・15-18
2. 平成30年度観光施策の成果目標・・・・・・・・・・19

石垣市観光基本計画【改訂版】進捗状況チェックリスト（H30年5月付）

計画期間／2015年（平成27年）～2020年（平成32年）

【基本目標】

項目	内容	施策数	開始年	完了年	達成率
基本目標 1	「みる旅」「する旅」から「来るたび 発見・また来たくなる旅」の確立を 目指します。	25 施策 No.1～25	H28 年 4 月	H32 年 3 月	61%
基本目標 2	観光分野（観光ニーズ）とまちづくり 分野（市民ニーズ）の融合による固有 の魅力ある観光文化の創造を目指し ます。	16 施策 No.26～41	H28 年 4 月	H32 年 3 月	39%
基本目標 3	自然環境と人を最大の観光資源とし る持続可能な取り組みを促進しま す。	16 施策 No.42～57	H28 年 4 月	H32 年 3 月	54%

【目標フレーム】

項目	目標値	開始年	完了年	現状値	達成率	根拠資料
入域観光客数	150 万人	H28 年 4 月	H32 年 3 月	137 万人	92%	H29 年観光入域推計
平均宿泊数	3.0 泊	H28 年 4 月	H32 年 3 月	2.36 泊	79%	H28 年度沖縄県観光 統計実態調査
観光消費額	1,050 億円	H28 年 4 月	H32 年 3 月	858 億円	82%	H29 年観光入域推計

石垣市観光基本計画[改訂版]進捗状況チェックリスト(平成30年5月付)

改定後の後期計画期間/平成28年(2016年)～平成32年(2020年)

No.	項目	事業内容	取組内容	開始年	完了年	達成率	主管課等	備考
1	中心市街地活性化の取り組みと連携した魅力的な散策滞在の掘り起こし	・(仮称)石垣公設市場リニューアル事業 モバイル観光情報システム構築 ・IM石垣事業「まちなか散歩ツアー」持続化支援	・石垣市公設市場の運営課題の見直しを実施中 入居テナント料の見直し 施設設備のあり方	平成28年4月	平成32年度	60%	商工振興課	
2	着地型地域密着旅行商品の発掘	・市民・団体や地域でつくる地域密着型旅行商品の発掘事業	・離島観光・交流促進事業への協力。 ・地元高校生等による体験型観光プラン提案のパンフレット制作をおこなっている。	平成28年4月	平成32年度	50%	観光文化課	※離島観光・交流促進事業(県) モニターツアー ※高校生プロジェクト「Chura★1」
3	まちかどボランティア制度の推進支援	・観光美化ボランティア活動の仕組み作り、取組みへの支援や褒賞制度の導入	平和協同推進課が事務局をしている石垣市民憲章推進協議会の美化活動等には補助金を出している。	平成28年4月	平成32年度	50%	平和協同推進課	
4	広域観光ルートの見直しと新しい魅力づくり	・周辺離島観光ルート構築にかかる八重山ビジターズビューローとの連携 ・南ぬ浜町人工ビーチの魅力創出支援	・南ぬ浜町海浜緑地において平成28年度、平成29年度に暫定供用を実施。暫定供用期間外にも、音楽イベントやスポーツ大会を開催。	平成28年4月	継続中	100%	観光文化課 港湾課	※TsunDAMIフェスティバル(人工ビーチ会場)
5	「観光立市」広報の取り組み	・観光立市を啓発するフォーラムなどの定期的開催	・文化観光シンポジウム開催(過去3回実施)、今後も継続して実施予定。	平成28年4月	継続中	100%	観光文化課	
6	やいま石垣さんばしマーケットの創出【地域創生総合戦略掲載】	・やいま石垣さんばしマーケット創出	・やいま石垣さんばしマーケット創出にかかる実証実験は平成29年度で終了、港湾計画と連動して、常設化を図る予定で進捗。	平成28年4月	平成32年度	70%	商工振興課	
7	クルーズ船関連機能の整備	・クルーズバースの整備や受入関連機能としての両替所、観光案内所の設置	・観光案内所設置完了 ・クルーズ船専用バースを暫定供用開始	平成28年4月	平成32年度	24%	観光文化課、港湾課	
8	国際観光圏形成の促進	・国際線施設を旅客者や国際貨物の物流による経済効果の創出 ・欧米を中心とした外国人観光客の誘致	・欧州での日本観光催事への出展 ・欧米向けインバウンド施策「The Islanders」事業の実施 ・欧米向けインバウンドPR動画及びWEBサイト構築 ・平成29年度国際貨物の輸出が可能な税関空港の指定を受け、香港への初輸出達成。 ・アジアゲートウェイ石垣島プランディング戦略創出取り組みを平成30年度に実施する。	平成28年4月	平成32年度	60%	観光文化課 商工振興課	※特産品プロモーション事業税関空港活性化プロモーション業務
9	観光通訳ボランティア登録制度	・語学講座の開催、人材バンク推進	・語学講座の開催(英語:20回 中国語20回 広東語:4回、人材バンク推進)	平成28年4月	継続中	100%	観光文化課	※観光従事者中心より実践を想定した講義内容
10	観光統計・顧客満足度調査の実施	・本市観光に係る各種統計調査や来訪者の旅行形態及び満足度意識の調査を定期的に行う	・外国人向けインバウンド調査の実施 ・ビッグデータを活用した観光動向等分析業務の実施	平成28年4月	継続中	100%	観光文化課 企画政策課	※H29年度2月、8月にWEBアンケートの実施
11	教育旅行やMICEの誘致	・MICE誘致のためのPR活動 ・MICE開催会場となる石垣市民会館の設備改修	・一括交付金を活用して市民会館の設備改修を進めている	平成28年4月	平成32年度	30%	観光文化課	
12	スポーツウェルカム石垣島	・プロ、アマスポーツの国際大会、キャンプ、合宿や実習などの誘致を推進するスポーツウェルカム事業の取り組み	29年度【キャンプ】(プロ野球)千葉ロッテマリーンズ、(Jリーグ)横浜マリノス、(学生野球)共栄大学、大東文化大学、(社会人陸上)福井県、徳島県投擲チーム、NIT陸上部、早稲田大OB競走部、東邦銀行、パラリンピアン佐藤圭大、山本篤、(学生陸上)国際武道大、名桜大、筑波大、東海大、関東学生陸上競技連盟、日本福祉大学 【イベント】国仲スポーツキッズテニス、石垣島ウルトラマラソン、NOWS石垣島OWS大会、グレートアース石垣西表ライド、石垣島マラソン、横浜マリノスVSFC琉球練習試合、プロ野球アジアゲートウェイ交流戦、ビーチアルティメット選手権 等	平成28年4月	継続中	100%	スポーツ交流課	
13	観光誘客プロモーション・年間平準化対策の推進・美ら星リゾート婚活ツアー	・国内外の観光誘客プロモーション展開 ・婚活ツアーを旅行商品として創出する	・台湾、香港でのプロモーションイベントの実施	平成28年4月	平成32年度	70%	観光文化課	

14	石垣島情報・イメージの発信	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムリーな観光情報や地域情報を日本語だけでなく多言語でも発信する取り組みを行う ・観光地の定点観測情報や交通路線の運航状況、台風や防災時の情報提供システムを強化する ・観光動機を喚起する石垣島イメージの創出を図り、情報の浸透や話題性を付加することに取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ・台風や防災時の情報提供システム等では、現在、防災行政無線、防災メール、ライン、FMいしかき、公用車による広報活動、一部の観光宿泊施設への防災行政無線戸別受信機設置等の情報提供を行っているが、すべての施設への設置が必要だと考える。また、防災行政無線の配置及び普及率から約50%の達成率とする。 	平成28年4月	平成32年度	50%	観光文化課 防災危機管理室	
15	伝統文化の宝庫の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・地域文化としての伝統芸能や文化財及び「石垣島らしさ」を観光資源として活用したり紹介するガイドブックの作成 ・「ゆんたく家」を有効活用した「伝統芸能・文化発信ホットステーションの創出(地域総合戦略)」支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ゆんたく家」を有効活用した「伝統芸能・文化発信ホットステーションの創出(地域総合戦略)」支援は平成28年度で事業終了。 ・平成29年度に「石垣みらいカレッジ」を実施して、商工分野を領域にした島の手仕事などの文化を発信 	平成28年4月	平成32年度	90%	観光文化課 商工振興課	
16	大学・研究機関との連携による観光題材研究	<ul style="list-style-type: none"> ・大学や研究機関と観光題材に関する共同研究事業を行い、情報や戦略資料の蓄積をする一方で人材発掘と育成に貢献する取り組みをおこなう 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業能率大学、(株)ユーグレナ、自由が丘商店街振興組合との四者間連携事業の実施 	平成28年4月	継続中	100%	観光文化課	
17	海洋資源利用の魅力向上と永久利用及びマリンレジャーの促進	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の楽しみ方や付き合い方をガイドできる丁寧・安心なホスピタリティーの仕組みと評価づくり ・外国人ダイビングインストラクターに対するピザの発行を可能にする制度づくり ・海洋性レクリエーション、水産業の振興、生態系に配慮した環境の維持やハード整備について関係所管部署と取り組む ・海環境保全や再生活動への活動をマリンレジャーと結びつけ、参加者へポイントを付与し、一定のポイント数で表彰等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マリンレジャーの促進については、民間の自主的な取り組みに委ねられている状況 ・ハードや制度づくりについては未実施 	平成28年4月	平成32年度	未実施	観光文化課 企画政策課 水産課	
18	サメ駆除における新たな観光事業の創出【地域創生総合戦略掲載】	<ul style="list-style-type: none"> ・一本釣りによるサメの捕獲を一般観光客等による体験型の観光プログラムとして創出 	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度に、一括交付金を活用し、サメ捕獲の体験型観光プログラムの実証試験を行った。利用者のアンケートでは事業メニューの内容について満足度は概ね高い評価であったが、天候の変動により影響があり、定期的な担保が難しい。また、漁具等の消耗が著しくコストが高止まりとなる。船舶の規模から利用客数も限定されるため、収入は大きく見込めず、採算性に多くの課題があり、事業化は困難と思われる。また、サメ保護団体からの反対の声も多くなっており、観光目的の事業創出は困難と思われる。 	平成28年4月	平成28年度	実施不可	水産課	
19	スカイレジャー振興	<ul style="list-style-type: none"> ・海や景観を空から眺める感動溢れる体験型メニューとして支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・明石パラワールドの指定管理 	平成28年4月	平成32年度	50%	観光文化課 施設管理課	
20	ゴルフ場建設に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・観光の立場からゴルフ場建設に向けた意見提言などの支援を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係部署による課題等の協議 ・事業者による環境アセスメントに係る説明会 	平成28年4月	平成32年度	5%	企画政策課	
21	星空やナイトツアーを観光資源とした取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・「星空保護区」の認定を目指す ・蛍ツアーやサガリ花など、夜間の自然観察を観光資源として活用する取り組みを行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・「星空保護区」認定 (H30. 3. 30) 	平成28年4月	平成32年度	80%	観光文化課	※国内初/竹富町との共同/西表石垣島国立公園の区域
22	美ら星ゲートの創設【地域創生総合戦略掲載】	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の観光資源の一つである星に関する新たなスポットとして、プラネタリウムを作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・プラネタリウム建設 (H30秋頃完成予定) 	平成28年4月	平成30年度	80%	観光文化課	H31. 3月頃供用開始予定
23	石垣島の家庭料理を通じた食文化発信事業【地域創生総合戦略掲載】	<ul style="list-style-type: none"> ・個人・団体等が日替わり又は週替わりで地元食材を活用した家庭料理を提供する場の創出 ・石垣島の食文化の伝承や更なる発信のため、料理専門家等の協力を得て、地元食材を活用した新たなレシピも開発を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・島素材でつくる簡単レシピ完成。 ・家庭料理を提供する場の創出は、事業見直しにより取りやめ。 	平成28年4月	平成29年度	完了	企画政策課	※石垣市HPやYouTubeでレシピ公表

24	ダムを活用した新たなスポーツ・観光事業の創出【地域創生総合戦略掲載】	・農業灌漑用のダム湖をポートや、ウォーター・スポーツ、また、プロジェクト・マップング等の場として活用	・管理者である国や県、本市の村づくり課とスポーツ交流課で話し合いをしたところ、常設の棧橋設置に関しては許可できないが、ダムでのスポーツ事業に関しては、申請すれば許可は可能ということなので、今後、湖面を利用した事業を企画していく予定である。	平成28年4月	平成32年度	30%	むらづくり課 スポーツ交流課	
25	石垣らしい水族館の推進	・石垣市の観光交流拠点としての水族館の建設を推進する	・基本計画基本構想の作成	平成28年4月	平成32年度	30%	企画政策課	
26	新たな島の宿泊スタイルの構築・農漁村民宿生活体験支援	・島内各地域で個人客を受け入れる民泊を促進するが、一定のガイドラインを作成し、トラブル防止とサービスや品質の向上を図る ・ロングステイや2地域居住などのニーズに対しての需要調査を行い、受け入れるための条件等について把握を行う	・離島観光・交流促進事業への協力	平成28年4月	平成32年度	50%	観光文化課	
27	観光消費額・島内波及効果の向上に向けた取り組み	・島野菜・ハーブの生産・加工・販売の推進、LEDライトを活用した砂栽培農法による葉物野菜の生産推進、及び水産加工施設の機能強化による6次産業化の推進 ・地産地消や域内消費額の向上に向けた取り組み	・さんばしマーケットにおける地産地消の状況を調査 ・平成30年度は、インバウンド向けのお土産、食等の消費額向上についてブランディングを図る。	平成28年4月	平成32年度	60%	農政経済課 商工振興課	
28	観光所得・雇用効果創出調査	・観光がもたらす所得効果や雇用効果を調査して、観光産業の構造を分析することで、観光所得向上の方策を図る	・調査の手法について研究し、実施する。	平成28年4月	平成32年度	未実施	観光文化課	
29	メイドイン石垣体感運動	・市内の飲食店など地元素材を使用している場所での石垣島産表示や情報提供を行うなど、ストーリー性のある石垣島産品の普及を行う(US10プロジェクトの展開等)	・農政経済課にて実施している「特産島石垣島」プロジェクトや水産課のマグロPR事業等と連携した取り組みを検討している。	平成28年4月	平成32年度	30%	観光文化課	
30	石垣島らしさを表彰する「YEAR OF ISHIGAKI(仮称)」の実施	・石垣島らしさ・石垣島ならではの、といった観光要素としてのスパイスの魅力が観光魅力につながることを趣旨とした表彰規程の作成	・他の表彰規定との違いなど、独自性を出せるか含め実施に向けて調査検討していく。	平成28年4月	平成32年度	未実施	観光文化課 農政経済課 水産課	
31	ヘルスツーリズム・リハビリ・エステ観光形態の促進	・自然観光資源や地域資源による癒し効果の科学的検証、医療サービスを付加した観光企画の検討を医療機関や関係者を行う	・民間の取組みは見られるが、行政においては未実施	平成28年4月	平成32年度	未実施	観光文化課	
32	ウェディング IN ISHIGAKI 支援	・これまでの島外からのウェディング誘致実績や満足ニーズを検証する推進委員会を設置する	・星空ウェディング	平成28年4月	平成32年度	50%	観光文化課	
33	石垣島ミュージック&アート・クラフトコンベンションの開催	・石垣島イメージを触発する音楽や芸術の力を結集させたコンベンションの開催や著名アーティストと地域アーティストの活動結果を図り、文化産業を推進する	・TsunDAMI フェスティバル ・メディア芸術祭	平成28年4月	平成29年度	完了	観光文化課	
34	国内外の大学からのインターンシップの推進	・地元の観光産業を担う人材や国内外の他大学生等との交流等を体験できるプログラムを創出	インターンシップ推進事業 平成28年度 20名 受入事業者5社 平成29年度 19名 受入事業者5社	平成28年4月	平成32年度	60%	観光文化課	
35	観光産業全体としての人材育成	・地域の子供達が観光の現場を身近に体験してもらうプログラムを検討して、将来的な観光人材の発掘・育成の取り組みを行う	・高校生プロジェクト「Chura★1」実施 パンフレット作成 観光通訳ボランティア 渋谷ロフト派遣	平成28年4月	平成32年度	80%	観光文化課	※Uターン人材の育成
36	観光ユニバーサルデザインの取り組み	・「石垣市福祉のまちづくり条例」に基づき、公共施設や公共交通におけるバリアフリー化を推進	玉取崎展望台駐車場にて実施 石垣市福祉のまちづくり条例に基づく事前協議件数・・・H28年度19件、H29年度13件	平成28年4月	平成32年度	50%	福祉総務課 施設管理課	
37	ビーチ及び観光施設の整備	・市民意見を取り入れた観光施設管理に関する委員会の設置を行う ・『石垣市観光施設・観光地再整備計画』の方向性を推進支援する	一括交付金を導入し実施中	平成28年4月	平成32年度	50%	施設管理課 観光文化課	

38	地域のおもてなし向上の取り組み	・市民レベルで触れ合う観光客との交流機会を促すため、定期的な観光や地域情報の提供など市内店舗を観光交流拠点として利用する協定を結び取り組みを行う	・民間の個々の取組みはある ※市全体の組織的な取組みが弱い	平成28年4月	平成32年度	30%	観光文化課	
39	雨天の楽しみ方提案の取り組み	・市内事業者や市民からの意見を募り、雨の日などでも楽しめる自然体験や文化体験など工夫ある観光オプションづくりを実施	石垣市美ら星ゲート構築事業 ・離島ターミナルにプラネタリウム施設を構築	平成28年4月	平成32年度	40%	観光文化課	※来年3月頃供用開始予定
40	サイン・Wi-Fi等の環境の充実	・島内のどこにおいても情報通信ができるよう、Wi-Fi環境の増強を図るとともに、島内移動をサポートする案内サインの設置を図る	・観光客に向けた観光情報発信事業の推進 wi-fiアンテナの9本増設 観光アプリによる情報案内	平成30年6月	平成32年度	50%	観光文化課	※観光客への情報通信環境を充実させることにより観光消費額の向上を図る。
41	石垣スポーツコミッション(仮称)の創設【地域創生総合戦略掲載】	・石垣市体育協会を法人化するとともに、石垣スポーツコミッションへと移行する	石垣市体育協会の法人化に伴い、石垣市体育協会にスポーツコミッションの創設を予定しています。現在本市が行っているスポーツウェルカム事業のノウハウを基盤に、スポーツコミッション創設に向け準備を進めている。	平成28年4月	平成32年度	20%	スポーツ交流課	
42	エコツーリズム研修システム確立の取り組み	・ラムサール条約に登録されている名蔵アンパルや国立公園に含まれるエコフィールドを活かしてエコツーリズムの研修・普及活動を活性化	・民間事業者の自主的な取組みに委ねられている状況	平成28年4月	平成32年度	未実施	環境課	
43	エコツーリズム推進法活用に向けた取り組み・保全利用協定制度の支援	・自然環境を保全・活用するため地域や関係者の意見を整理して、エコツーリズム推進法や保全協定に関する取り組みを行う	H28年10月より「石垣市自然環境保全ネットワーク」を年2回開催し、自然環境保全について情報共有、意見交換を行っている。	平成28年4月	平成32年度	50%	環境課	
44	サンゴ保全活動における新たな観光事業の創出【地域創生総合戦略掲載】	・サンゴ養殖・移植作業を一般ダイバー等による体験型プログラムとして実施する ・研究機関の協力を得て、新たに健康・スポーツプログラムを開発する	平成27年度の地方創生先行型補助金を活用した事業補助金をNPO法人に交付し、サンゴ養殖移植作業を観光客を対象にした観光プログラムを立ち上げた。	平成27年11月	平成32年度	54%	企画政策課	
45	修景快適性疎外要因の解消の取り組み	・まちなかを通して感じる観光イメージをマイナスにする要因(悪臭、ゴミなど)の発生原因について関係所管部署と対策に取り組む	悪臭、ゴミなどの発生原因調査は関係機関と連携し取り組んでいる。	平成28年4月	平成32年度	40%	観光文化課 環境課 商工振興課	
46	景観形成に向けた取り組み	・地域独自の固有性ある景観は観光魅力となることからその価値を保全して高めていくことに取り組む	赤瓦、石垣などの設置に対し、助成金を出している。	平成28年4月	継続中	100%	観光文化課 都市建設課	
47	歴史的景観保存・活用支援の取り組み	・歴史的景観を観光魅力として保存する取り組みを行う ・観光利用のあり方について検証や支援をする	平成28年度、指定文化財説明板9基を設置	平成28年4月	平成32年度	50%	観光文化課 都市建設課 文化財課	
48	観光まちづくりコミュニティ協定への取り組み	・集落観光のコーディネーター、まちぐるみの観光推進を行うため、地域との意見交換やプログラムづくりを積極的に開催する	星空保護区認定エリアに隣接する久宇良集落にて地域と連携して「アースナイトデー」を予定している。	平成28年4月	平成32年度	30%	観光文化課	※星空保護区認定を記念したキャンペーン H30.11.10実施
49	サイクルロード・ウォーキングトレイルの整備	・推奨マップづくりや楽しめる情報の提供を行い、休憩・景観ポイントを整備する ・『平久保エコロード構想・計画』整備事業の支援、連携を図る	・平久保エコロード PRイベントやセミナー、行政視察等でのPR	平成28年4月	継続中	100%	都市建設課	
50	RAKUEN指標による状況変化のシナリオ作成	・観光による環境と地域社会への影響を測る新しい指標(RAKUEN指標)を導入する	・東京大学との導入事務調整3回 ・平成31年度にて実施予定	平成31年4月	平成32年度	20%	観光文化課	
51	環境共生型観光への取り組み	・川平湾におけるグラスボートの電気推進船(EV船)導入支援を図る ・石垣市が進める「生ごみ・し尿・浄化槽・汚泥・泡盛粕」を利用し、島内で循環できるシステム作りの実証実験、その効果創出を観光分野からも支援する	・川平湾におけるグラスボートの電気推進船(EV)の運用支援・修繕 吹通川 白保海岸(トイレ・東屋設置)	平成28年4月	平成32年度	20%	観光文化課 農政経済課	H30.4.25白保海岸東屋・トイレ供用開始

52	環境保全資金に係る取り組み	・石垣市観光交流協会が取り組む「美ら海・美ら山募金」の推進を支援する	・石垣島の自然・環境の保護と美化活動のための財源確保のための募金活動 ・川平湾や河川の保護及び浄化対策 ・米原海浜や周辺海域のサンゴ礁の保護対策 ・観光地、海浜、主要道路の美化活動	平成28年4月	平成32年度	50%	観光文化課 観光交流協会	
53	石垣市観光年次レポートによる年次報告	・石垣市の観光現況や取り組み施策を市民や関係者向けに年度報告する	観光開発審議会の実施	平成28年4月	平成32年度	50%	観光文化課	
54	石垣市観光プラットフォームの推進	・多様な業種が参加し、情報の共有化と課題に対する対応について、アンケートや統計データを資料とした会議を開催する	石垣市観光プラットフォーム会議の開催 ・2回開催 ・観光アンケートの実施	平成28年4月	継続中	100%	観光文化課	※石垣市観光アドバイザー谷口正和氏の基調講演等／パネルディスカッション
55	観光立市(振興)条例の制度	・「星空条例」の制定について、調査研究を行う	・星空保全条例の制定 関係団体との調整 保護区周辺地域への住民説明会	平成28年4月	平成30年度	50%	観光文化課	
56	石垣市観光交流協会、八重山ビジターズビューローとの連携強化	・相互の事業を見直し、観光振興のニーズを把握したうえで、相互の役割を再構築する ・空港観光案内所の運営について共同で推進	・八重山観光感謝のつどいの実施 ・観光戦略会議の実施 ・観光PR・受入事業における連携	平成28年4月	継続中	100%	観光文化課 観光交流協会 YVB	※航空業界や旅行業界への三市町長のトップセールス
57	観光危機管理の取り組み	・『沖縄県観光危機管理実行計画』の内容を活用して、本市の観光危機管理対策についての取り組みを積極的に図る	観光危機フォーラムの開催	平成28年4月	平成32年度	50%	観光文化課	

平成27年石垣市入域観光推計表

平成27年 12月 の入域総数は 87,119 人で、その内観光客数は 73,215 人と推計される。
 空・海路別内訳(観光客数)は、空路 61,660 人、海路 11,555 人となる。

概要

海路は入域観光客の割合は海路18%(前年15.3%)と増加傾向にあり年間を通して20万人を初めて突破した。スタークルーズ「アクエリアス号」が2、7、14、21、30日の計5回寄港し、計11,555名が来島。同船は年間187,193人を送客した。クルーズ船全体の来島者数は、199,946人となっており、アクエリアス号の送客割合は93.6%を占めている。2016年は1月27日に初寄港を予定。クルーズ船増加により石垣島で入国審査を行った外国人は過去最高の194,056人を記録した。空路は、3月にはスカイマークの羽田、那覇便が運休し事実上の撤退となった。ソラシドエアがANAとコードシェア運行を開始、ANA羽田便増便。4月、ANA羽田便にB787を導入し、座席数、搭載貨物量ともにB767を上回り送客増に寄与したものの空路全体の対前年比は95.9%となった。対前年割れは新空港開港後初となり、東日本大震災のあったH23年(2011)以来4年ぶり。

本統計の観光客係数について、昨年度沖縄県が実施した調査をもとにH27年4月分から係数を改変した。改変前の係数(H23年度)の場合、空路は923,631人となり、海路と合計すると1,123,734人となる。

入域観光客数・消費額

(単位:人)

	平成27年			平成26年			対前年比			消費推計額
	観光客数	内、空路	内、海路	観光客数	内、空路	内、海路	総数	空路	海路	
1月	56,872	56,257	615	56,279	56,279	0	101.1%	100.0%	-	41.1億円
2月	67,964	67,950	14	69,052	66,279	2,773	98.4%	102.5%	0.5%	49.1億円
3月	95,226	84,466	10,760	87,176	87,128	48	109.2%	96.9%	22416.7%	63.3億円
4月	107,137	82,459	24,678	109,166	86,710	22,456	98.1%	95.1%	109.9%	59.7億円
5月	90,513	69,473	21,040	104,178	74,632	29,546	86.9%	93.1%	71.2%	48.1億円
6月	100,569	73,552	27,017	103,208	80,909	22,299	97.4%	90.9%	121.2%	51.8億円
7月	106,700	87,536	19,164	116,114	97,990	18,124	91.9%	89.3%	105.7%	60.7億円
8月	106,441	86,998	19,443	131,055	106,477	24,578	81.2%	81.7%	79.1%	59.9億円
9月	106,140	84,198	21,942	119,504	89,446	30,058	88.8%	94.1%	73.0%	58.1億円
10月	106,876	81,035	25,841	90,862	70,712	20,150	117.6%	114.6%	128.2%	56.4億円
11月	88,667	70,633	18,034	68,152	68,152	0	130.1%	103.6%	-	49.5億円
12月	73,215	61,660	11,555	61,567	60,584	983	118.9%	101.8%	1175.5%	42.4億円
合計	1,106,320	906,217	200,103	1,116,313	945,298	171,015	99.1%	95.9%	117.0%	640.1億円

路線別入域

	空路								
	東京	成田	大阪	神戸	名古屋	福岡	那覇	宮古	チャーター
1月	11,222	-	6,552	-	2,544	-	33,905	2,034	0
2月	17,303	-	7,829	-	2,805	-	36,067	2,323	1,623
3月	18,946	-	10,458	-	3,527	-	48,669	2,689	177
4月	19,142	-	10,593	-	3,687	547	44,868	2,758	864
5月	16,184	-	9,273	-	2,496	749	37,491	2,319	961
6月	16,148	-	10,524	-	2,527	1,020	39,768	2,329	1,236
7月	22,126	-	10,704	-	3,424	2,547	45,271	2,220	1,244
8月	22,469	-	10,417	-	3,293	2,471	45,062	2,153	1,134
9月	20,312	-	10,861	-	2,520	2,253	44,636	2,268	1,348
10月	19,927	-	10,485	-	3,001	1,773	42,512	2,540	797
11月	16,349	-	9,744	-	2,946	-	38,862	2,732	0
12月	13,496	-	8,101	-	2,526	-	35,561	1,976	0
合計	213,624	0	115,541	0	35,296	11,360	492,672	28,341	9,384

海路	
定期便	クルーズ等
0	615
0	14
0	10,760
0	24,678
0	21,040
0	27,017
0	19,164
0	19,443
0	21,942
0	25,841
0	18,034
0	11,555
0	200,103

平成27年度 観光施策の成果（沖縄振興特別交付金）

市町村名		事業名	計画期間	事業概要		H27成果(指標)	備考
事業番号	事業内容			H27事業内容	H27活動目標(指標)		
パ	細						
1	①	観光誘客プロモーション事業	H24 ～ H33	県外の主要都市及びターゲット地域に出向き、観光渡航先としての石垣島の観光魅力を対面プロモーションする。また、プロモーションに活用するツール作成、メディア媒体との連動や誘客イベントを開催することで、誘客需要の安定化を図る。	プロモーションの実施:13回	・ターゲット都市でのPRイベントの実施:8回 ・ラジオ、雑誌等のメディア活用PR:6媒体 ・観光入域客数:117.1万人(前年度:112.3万人)	・ターゲット都市でのプロモーションイベント ・観光パンフレット/ノベルティグッズ作成 ・ラジオ、雑誌等のメディア活用PR
1	⑤	石垣島シネマフェスティバル事業	H24 ～ H33	八重山諸島で撮影された映画作品を集め上映する事により、映画、ドラマのロケ地としての島の魅力を広く国内外に発信する。	・シネマフェスティバルの開催	・シネマフェスティバルの入場者:5,000人	今後の展開方針 ・目標総入場者数8万人(累計) ・目標マスコミ媒体30社以上(年累計)
1		石垣島ミュージックフェスティバル事業	H25 ～ H28	観光閑散期に開催する規模感のある観光とエンターテイメントの複合イベント。本市の有するリゾート性を定義して、イベントへの集客を国内外にアピールする。	イベントの実施	来場者数:3,000人	告知期間が短かったため当初目標の来場者数7,000人を下回った。
1	⑨	石垣市民会館設備改修事業	H25 ～ H30	良好な環境を提供しやすい施設として整備することで、島内外のプロを始めとするアーティスト及び団体による公演の誘致を促進し、ファンをイベントツアーで誘客し島の魅力をアピールすることでリピーターとしての新たな観光客誘致につなげる。	・石垣市民会館空調設備改修	・クーラー改修工事にむけ設計委託の実施 ・音響設備改修により大ホール用音響調整卓及び移動卓並びに調光操作卓を購入した。	今後の実施予定内容等 ・H28年度:照明設備改修工事 ・H29年度:音響設備改修工事 ・H30年度:中央監視盤、非常用発電機設備改修工事
1	⑪	南ぬ島空港観光案内所運営事業	H25 ～ H33	本市の玄関口となる石垣空港ターミナル内において、国内外からの旅行者を対象とした観光案内サービスを実施し、観光地としての信頼度を高める。	・観光案内サービスの実施	・案内所サービスの利用者数:50,431人(対前年度比13%増)	観光交流協会委託常時3名体勢
2		観光地受入基盤強化事業	H26 ～ H31	着地型コンテンツの造成や観光消費額、観光満足度の向上に資する仕組みづくりや観光まちづくりを行う。	・外国人観光客向け人材バンク事業 ・観光人材育成 ・着地型、季節毎コンテンツの造成・創出支援 ・公衆Wi-fiの価値向上、情報発信 ・星空資源の観光活用 ・観光満足度 ・観光ビジョン等の策定	・外国語講座の受講者数:168名(目標:90名) ・南の島の星まつり/とぅばらーま大会実施 ・星空学びの部屋来場者数13,906名(目標:5,000名)	外国語講座の開催:3ヶ国語、1コース20回開催
8	①	国際定期便誘致事業	H24 ～ H33	就航路線の活性化のために、台湾・香港・上海・韓国等の東アジア圏を主要な開拓市場とし、また、台北経由での本市入域客を増加させる方法として台湾以遠の東南アジアや欧米、豪も視野に入れたキャリアセールス及び誘客プロモーションを行う。そして将来に向けてインバウンド需要の安定化につなげる。	プロモーション・セールスの実施:5回	・ターゲット地域での本市PRイベントの実施:1回 ・海外キャリアセールスの実施(台湾2回、韓国1回、香港1回、以遠地1回)	韓国、香港、台湾、誘致プロモーションを実施することができた。

平成28年石垣市入域観光推計表

平成28年 12月 の入域総数は 97,773 人で、その内観光客数は 82,776 人と推計される。
空・海路別内訳(観光客数)は、空路 67,729 人、海路 15,047 人となる。

概要

12月の空路は対前年比109.8%であった。6月から就航した香港エクスプレスは毎週火・土曜日の週二回計8回の発着があり、降客は1,224名であった。海路は対前年比130.2%であった。1日には飛鳥Ⅱが寄港し、1,026人が来島した。アクエリアス号は5,12,14,19,26,28日の計6回寄港し、14,021人来島した。

平成28年の年間観光客数は過去最高を記録。初めて120万人を突破し約124万人が来島、年間消費推計も約785億を計上した。対前年比は空路では108.7%であった。本年は香港エクスプレスが初就航し、6月から12月までの7ヶ月間で計10,830人の送客があり、中国(香港・マカオ含む)の入客数は17倍に増えている。海路では対前年比127.2%となり、クルーズ船での来島は254,488人となった。寄港における送客割合は、昨年はアクエリアス号が送客の93.6%を占めていたが、本年は49.5%と全体の約半数の送客となり、初寄港の船やこれまで寄港回数の少なかった船の寄港が大幅に増えるなどの変化が見られた。
なお、本年5月～8月期のクルーズ船入客数に誤りがあったため、訂正した。

(単位:人)

	平成28年			平成27年			対前年比			消費 推計額
	観光客数	内、空路	内、海路	観光客数	内、空路	内、海路	総数	空路	海路	
1月	67,624	64,876	2,748	56,872	56,257	615	118.9%	115.3%	446.8%	45.1億円
2月	98,856	76,161	22,695	67,964	67,950	14	145.5%	112.1%	162107.1%	55.5億円
3月	118,766	90,758	28,008	95,226	84,466	10,760	124.7%	107.4%	260.3%	67.0億円
4月	102,921	83,111	19,810	107,137	82,459	24,678	96.1%	100.8%	80.3%	68.8億円
5月	106,796	70,791	36,005	90,513	69,473	21,040	118.0%	101.9%	171.1%	59.5億円
6月	101,941	79,295	22,646	100,569	73,552	27,017	101.4%	107.8%	83.8%	64.3億円
7月	110,035	94,725	15,310	106,700	87,536	19,164	103.1%	108.2%	79.9%	76.4億円
8月	135,591	106,795	28,796	106,441	86,998	19,443	127.4%	122.8%	148.1%	87.6億円
9月	109,916	84,869	25,047	106,140	84,198	21,942	103.6%	100.8%	114.2%	69.7億円
10月	115,329	90,003	25,326	106,876	81,035	25,841	107.9%	111.1%	98.0%	73.9億円
11月	88,693	75,573	13,120	88,667	70,633	18,034	100.0%	107.0%	72.8%	61.7億円
12月	82,776	67,729	15,047	73,215	61,660	11,555	113.1%	109.8%	130.2%	55.6億円
合計	1,239,244	984,686	254,558	1,106,320	906,217	200,103	112.0%	108.7%	127.2%	784.9億円

路線別入域

	空路								
	東京	成田	大阪	名古屋	福岡	那覇	宮古	香港	チャーター
1月	14,307	-	8,186	2,512	-	37,267	2,604	-	0
2月	17,400	-	9,422	2,723	-	42,730	2,823	-	1,063
3月	21,496	-	11,886	3,918	-	50,418	2,895	-	145
4月	20,222	-	10,790	3,693	316	44,614	2,476	-	1,000
5月	16,245	-	9,940	2,735	538	38,008	2,292	-	1,032
6月	17,311	-	11,353	3,043	884	42,167	2,496	872	1,168
7月	23,987	-	11,904	3,661	2,059	47,335	2,492	2,023	1,264
8月	27,498	-	12,524	4,007	2,516	54,762	2,601	1,871	1,017
9月	21,053	-	10,595	2,508	1,560	44,138	2,167	1,799	1,049
10月	22,565	-	11,703	3,089	1,800	45,274	2,982	1,778	812
11月	16,661	-	10,087	3,063	-	42,086	2,413	1,263	0
12月	14,799	-	9,076	2,872	-	37,655	2,104	1,224	0
合計	233,544	0	127,466	37,824	9,673	526,454	30,345	10,830	8,550

海路	
定期便	クルーズ等
0	2,748
0	22,695
0	28,008
0	19,810
0	36,005
0	22,646
0	15,310
0	28,796
0	25,047
0	25,326
0	13,120
0	15,047
0	254,558

平成28年度 観光施策の成果（沖縄振興特別推進交付金）

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果(指標)	備考
事業番号	パ細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		
1	①	観光誘客プロモーション事業	H24 ～ H33	年間を通じた観光誘客のために、観光情報の発信及び観光プロモーションイベントなどに取り組む。リピータ需要が安定的なダイビングはじめ石垣島ファン掘り起しを行い、シーズン毎の誘客要素をメディア媒体を活用して広報するなど、石垣島に対する親近感や関心を喚起するプロモーション活動によって観光需要の継続した創出を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・メディア媒体を活用した情報発信業務 ・ダイビング誘客PR業務 ・観光誘客PR業務 ・クルーズ船誘致媒体製作 	<ul style="list-style-type: none"> ・入域観光客数前年比12%増 ・島外誘客イベント等の実施5件 ・メディア媒体による情報発信での商品造成:1件 ・台湾人観光客向け媒体制作実施 	観光誘客の年間での平準化を図り、観光需要の安定化を確保する。そのために観光動態調査等による戦略的な誘客事業を推進する。
1	②	石垣島ミュージックフェスティバル事業	H25 ～ H30	観光閑散期の底上げを目指した、新規個人客層の誘客及びリピーターファン獲得のため、音楽を魅力にして石垣島らしさをアピールする音楽イベントを開催する。今年度は、次年度の開催に向けた広報及び商品造成等を構築、発信する。	<ul style="list-style-type: none"> ・将来的な民間移管を視野に次回開催(H29年度)に向け、これまでの検証を行う。 ・次回開催内容を決定して、広報、商品造成等の体制構築を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○イベント集客数:2,000人 ○イベントフェイスブックの「いいね数」:1,300件 ○次回開催に向けた広報(ホームページ、宣伝)等の制作と発信 	H29年度、平成30年度に開催、その後はチケット収入、協賛等での民間移管を計画。そのための知名度向上を推進していく。
1	③	南ぬ島空港観光案内所運営事業	H25 ～ H33	本市の玄関口となる新石垣空港ターミナル内において、国内外からの旅行者を対象とした観光案内サービスを実施する。観光情報等の提供により観光地としての信頼度を高める取り組みを行う。また、常設の観光アンケートの実施、案内所スタッフによる瓦版的な簡易な観光情報紙の発行を行う。台風時やイレギュラー時を想定した連携体制の構築も推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・観光案内人による情報提供 ・接遇力の向上 	○案内人接遇向上を目的とした研修参加の実施:3回	本市玄関口での観光案内人による接遇力を高めること、また案内所に付加価値を図れるよう推進したい。
1	⑤	石垣島シネマフェスティバル事業	H24 ～ H33	八重山諸島で撮影された映画作品を集め上映する事により、映画、ドラマのロケ地としての島の魅力を広く国内外に発信することを目的に開催する。またロードショー作品等も上映することにより映画館のない当市の市民及び観光客にも島の魅力や劇場で鑑賞する映画の楽しさを再認識してもらおう。	シネマフェスティバルの開催	<ul style="list-style-type: none"> H24年度入場者数:3,733人 H25年度入場者数:6,034人 H26年度入場者数:5,000人 H27年度入場者数:5,000人 H28年度入場者数:2,000人 	今後の展開方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・目標総入場者数8万人 ・目標マスコミ媒体30社以上(年累計)

平成28年度 観光施策の成果（沖縄振興特別推進交付金）

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果(指標)	備考
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		
1	⑧	石垣市民会館設備改修事業	H25 ～ H30	島内外のアーティストを及びMICE等の団体による多くの公演の誘致に繋げるため会館設備を改修し、良好な環境を提供しやすい施設として整備する。そのことにより、それら公演及びアーティストのファンをイベントツアーで誘客し島の魅力をアピールすることでリピーターとしての新たな観光客誘致活動を行う。	音響設備改修 ・大ホールスピーカーシステムの入替え及びアンプの更新 ・中ホールスピーカーシステム入替え及びアンプの更新	○大ホール、中ホールにおいて、スピーカーシステムを中心とした入替え ○大、中ホール電力増幅架(アンプ)入替え	今後の実施予定内容 ・H29年度:照明設備改修工事 ・H30年度:照明設備及び非常用発電 機改修工事 整備完了後 ・島外団体公演数10公演増 ・利用者数8000人増
2	①	観光地受入基盤強化事業	H26 ～ H33	観光地としての満足度を向上させリピーター層を増やすこと、石垣島らしさの観光プランディングを構築するために星空資源の広報、ウェルカム業務の実施、コンテンツプログラム(南の島の星まつり、とぅばら一ま大会、新春花火、文化観光コンテンツ)に取り組む。また、観光地マネジメントを推進する観光会議の開催、外国語講座の開催と合せた人材バンクの活用そしてユニバーサルマナーの講習会に取り組む。	・MICE等ウェルカム業務 ・ユニバーサルマナー講習会 ・石垣市観光プラットフォーム会議の推進 ・外国人観光客向け人材バンク業務 ・石垣島新春花火業務 ・文化観光コンテンツ推進業務 ・星空資源広報業務 ・南の島の星まつり、とぅばら一ま補	○MICE等ウェルカムの取組み実施件数:95件 ○星空学びの部屋来場者数:4,317人 ○南の島の星まつり/とぅばら一ま大会/新春花火大会の開催 ○文化観光コンテンツ媒体の制作	『石垣市観光基本計画』に基づき、観光まちづくりの課題解消と推進施策を本事業において取り組んでいきたい。
8	①	国際定期便誘致事業	H24 ～ H33	新石垣空港国際線施設を活かした就航路線の増便及び定期便化を実現するため、台湾、韓国、香港等の東アジア圏域を主な開拓市場とし、台湾以遠の各国も視野に入れた本市の認知度向上を図るプロモーション活動を実施する。また、石垣＝台湾間の通年運航の達成を目指して、冬季に交流基盤を図る取り組みを行う。	・韓国市場からの誘客モデルの検証業務 ・石垣島誘客イベントの開催 ・アジアゲートウェイ交流事業の実施 ・誘客パンフレットの制作	○韓国市場を対象にした観光誘客の検証及びモデルツアーを実施 ○台湾路線における就航回数の前年比3%増	南ぬ島石垣空港国際線施設の活性化を目指した、継続したプロモーション及びセールス活動の取り組みを沖縄県と連携して取り組む。

平成29年石垣市入域観光推計表

平成29年 12月 の入域総数は 94,939 人で、その内観光客数は 80,146 人と推計される。
 空・海路別内訳(観光客数)は、空路 67,820 人、海路 12,326 人となる。

概要

空路では、香港エクスプレスが9回就航が有り1,375人の降客があった。またフジドリームエアラインのチャーター機は17回の就航が有り844人の降客があった。

海路では、スーパースターアクエアスが12/4・12/11・12/25・12/28の4回の寄港があり、8,249人の降客があった。また、飛鳥Ⅱが12/2に寄港し1,319人の降客があった。更にばしふいつくびなすが12/31に寄港し、635人の降客があった。

平成29年の入域観光客数は1,376,651人で過去最大になり前年より137,407人増加した。空路は対前年比103.9%、海路は138.9%になった。増加の要因としてはクルーズ客船の観光客増加が最大の要因で有り99,037人増加した。また、香港エクスプレスが通年で就航し、33,013人の降客が有り前年の3倍程の降客があった。

(単位:人)

	平成29年			平成28年			対前年比			消費 推計額
	観光客数	内、空路	内、海路	観光客数	内、空路	内、海路	総数	空路	海路	
1月	86,842	69,961	16,881	67,624	64,876	2,748	128.4%	107.8%	614.3%	57.0億円
2月	95,156	72,212	22,944	98,856	76,161	22,695	96.3%	94.8%	101.1%	59.9億円
3月	120,882	94,571	26,311	118,766	90,758	28,008	101.8%	104.2%	93.9%	78.4億円
4月	117,853	86,157	31,696	102,921	83,111	19,810	114.5%	103.7%	160.0%	73.4億円
5月	101,311	76,785	24,526	106,796	70,791	36,005	94.9%	108.5%	68.1%	63.2億円
6月	126,148	84,708	41,440	101,941	79,295	22,646	123.7%	106.8%	183.0%	72.0億円
7月	144,105	99,728	44,377	110,035	94,725	15,310	131.0%	105.3%	289.9%	85.7億円
8月	159,829	109,333	50,496	135,591	106,795	28,796	117.9%	102.4%	175.4%	93.8億円
9月	112,921	90,583	22,338	109,916	84,869	25,047	102.7%	106.7%	89.2%	74.9億円
10月	123,739	89,413	34,326	115,329	90,003	25,326	107.3%	99.3%	135.5%	75.8億円
11月	107,719	81,785	25,934	88,693	75,573	13,120	121.5%	108.2%	197.7%	68.9億円
12月	80,146	67,820	12,326	82,776	67,729	15,047	96.8%	100.1%	81.9%	55.8億円
合計	1,376,651	1,023,056	353,595	1,239,244	984,686	254,558	111.1%	103.9%	138.9%	858.6億円

路線別入域

	空路								
	東京	成田	大阪	名古屋	福岡	那覇	宮古	香港	チャーター
1月	16,547	-	8,586	3,231	-	37,446	2,278	1,401	472
2月	17,214	-	9,149	3,098	-	39,157	2,263	1,048	283
3月	22,356	-	12,136	3,966	-	53,132	2,865	1,820	118
4月	19,259	-	11,393	3,750	309	44,487	2,634	3,380	945
5月	17,359	-	10,551	2,743	547	38,454	2,390	3,665	1,076
6月	19,235	-	11,122	3,451	1,097	42,434	2,688	3,515	1,165
7月	24,770	-	11,918	3,975	2,294	49,097	2,559	4,054	1,062
8月	27,329	-	12,338	4,064	2,905	54,764	2,596	4,304	1,032
9月	21,548	-	11,495	3,438	1,999	44,998	2,244	3,663	1,200
10月	22,335	-	10,818	3,546	1,986	43,205	2,708	3,536	1,280
11月	18,418	-	10,591	3,325	-	44,936	2,831	1,252	431
12月	16,167	-	8,845	2,434	-	36,006	2,151	1,375	844
合計	242,537	0	128,942	41,021	11,137	528,116	30,207	33,013	9,908

海路	
定期便	クルーズ等
0	16,881
0	22,944
0	26,311
0	31,696
0	24,526
0	41,440
0	44,377
0	50,496
0	22,338
0	34,326
0	25,934
0	12,326
0	353,595

平成29年度 観光施策の成果（沖縄振興特別推進交付金）

石垣市		計画 期間	事業概要		H29成果	備 考
事業 番号	事業名		H29事業内容	H29活動目標(指標)		
						パ
1	① 観光誘客プロモーション事業	H24 ～ H33	年間を通じた観光誘客のために、観光情報の発信及び観光プロモーションイベントなどに取り組む。	○ダイビング誘客PR業務 ○観光誘客PR業務	○入域観光客数前年度比7%増 ○誘客イベント等の実施 5件	観光誘客の年間での平準化を図り、観光需要の安定化を確保する。そのために観光動態調査等による戦略的な誘客事業を推進する。
1	③ 観光地受入基盤強化事業	H24 ～ H33	観光地としての満足度を向上させリピーター層を増やすために、満足度の向上や観光ブランドの構築等に取り組む。また、本市にゆかりのあるデザインの原付バイク等の「ご当地ナンバープレート」を交付する。	○文化観光コンテンツ推進業務 ○石垣市観光プラットホーム会議の推進 ○星空資源広報業務 ○南の島の星まつり、とぅばら一ま、文化観光イベント補助 ○ご当地ナンバープレートの製作	○星空学びの部屋の来場者数:4,478人 ○南の島の星まつり(1回)・とぅばら一ま大会(1回) ○ご当地ナンバープレートの交付	・『石垣市観光基本計画』に基づき、観光まちづくりの課題解消と推進施策を本事業において取り組んでいきたい。 ・ナンバープレートについては本市にゆかりのあるデザインの周知広報を図り、さらなる観光振興を目指す。
1	④ 南ぬ島空港観光案内所運営事業	H25 ～ H30	本市の玄関口となる新石垣空港ターミナル内において、国内外からの旅行者を対象にした観光案内サービスを実施する。	○観光案内人の配置 3名	○パンフレット(外国語)配布:12,000件 ○研修会参加実施:2回 ○案内対応件数:61,833件	本市玄関口での観光案内人による接遇力を高めること、また案内所に付加価値を図れるよう推進したい。
1	⑤ 石垣島ミュージックフェスティバル事業	H25 ～ H30	観光閑散期の底上げを目指した、新規客層の誘客及びリピーターファン獲得のため、音楽を魅力にして石垣島らしさをアピールする音楽イベントを開催する	○将来的な民間移管を視野に次回開催に向けての検証 ○次回開催の内容、広報、ツアー商品の造成実施	○イベントフェイスブックのいいね数を1,620件 ○イベントオフィシャルツアー200人 ○集客目標2,300人	今後はチケット収入、協賛等での民間移管を計画。そのための知名度向上を推進していく。
2	⑤ 美ら星ゲート構築事業	H28 ～ H29	石垣・八重山地方における星空の魅力や文化について、最新技術を駆使したVR等を活用して情報発信の場を創出する。	プラネタリウム建築に係る実施設計の実施	○プラネタリウム建築に係る実施設計の完了	【施設整備後の活用方法】 施設所有者は石垣市、運営は事業者にて実施する予定。

平成29年度 観光施策の成果（沖縄振興特別推進交付金）

石垣市		事業 番号	事業名	計画 期間	事業概要		H29成果	備考
パ	細				H29事業内容	H29活動目標(指標)		今後の展開方針等
					7	⑧		専門人材育成事業
8	②	国際定期便誘致事業	H24 ～ H29	新石垣空港国際線施設を活かした就航路線の増便及び定期便化を実現するため、台湾・香港等の東アジア圏域を主な開拓市場とし、台湾及び香港以遠からの誘致を視野に入れたキャリアセールス及び誘客イベントを実施する。	○キャリアセールスの実施 ○石垣島誘客イベント等プロモーションの実施 ○アジアゲートウェイ交流事業の実施	○台湾路線における就航回数の前年比増 ○香港路線における通年就航(夏:週6便 冬:週2便)	南ぬ島石垣空港国際線施設の活性化を目指した、継続したプロモーション及びセールス活動の取り組みを沖縄県と連携して取り組む。	

平成 30 年度 主な事務事業の執行方針

1. 概況

平成 29 年の本市の観光入域客数は、対前年比 110% の 137 万 6 千人超え、約 138 万人となり、過去最多を記録しました。その要因として①景況感の上向きによる国内旅行需要の拡大②円安による国外から国内旅行への需要のシフト③東京オリンピック開催決定を契機とした外国客の訪日需要の拡大④アジア中流層の所得向上による観光需要の増大⑤沖縄振興特別推進交付金（一括交付金）を活用した官民一体のプロモーション活動やメディア露出⑥新空港開港の PR による、国際便を含む新規航空会社の路線開設⑦既存航空会社の中型機材の運航と増便⑧クルーズ船の寄港回数の増加が挙げられます。

観光は、ヒト・カネの流れによる賑わいの創出及び消費活動の拡大を担い、地域産業との連携により経済波及効果をもたらすなど、地域経済の牽引役としての役割を期待されています。また、地域産業との結びつきが石垣島らしい固有の価値を生み出し、それが多くの人々を引き寄せ、従事する者に誇りをもたらします。

これらのことを踏まえた上で、平成 30 年度は、将来の国内人口の減少を見据えたインバウンド誘客の推進と、それに対するソフト、ハード両面での受入基盤の強化、また、星空保護区認定の国内外への PR 及びその活用と、今後の星空環境保全のためのルール作りや星空保全条例の制定など、星の島石垣島のブランディングを力強く推進していきたい。好調な観光入域に対して、本市の観光の魅力の源泉である景観、星空や自然環境への影響が懸念されていることから、観光の量から質への転換を目指す中での環境収容力（キャリング・キャパシティ）を踏まえた今後の観光戦略、方向性を考える年としたい。

2. 課題

平成 30 年も観光需要の新規開拓及び安定化と観光による地域経済の活性化を目的に各種事務事業に取り組むたい。新石垣空港開港以来、国際線の定期就航化、大型クルーズ船の寄航、東京オリンピック開催決定やアジア中流層の所得拡大など様々な背景も相まって、本市における外国人観光客は増加している。しかし、それに対する受入体制は決して十分ではなく、多言語対応の人材育成、WI-FI 環境の整備による多言語観光案内の充実、2 次交通対策などを強化する必要がある。また、近年の観光の進展による開発と本市観光の強みである自然や景観とのバランスも課題となっており、環境収容力の見極めも重要である。人口減少社会も踏まえ、インバウンド誘致もこれまでどおり推進するが、コンテンツの充実と人材育成も含めたサービスの質の向上によるリピーターの獲得や宿泊日数の増加による観光消費単価の向上など、量から質への転換を目指していきたい。また、星空保護区認定を観光として活かすための PR 事業と、認定継続のための星空保全の施策にも取り組む必要がある。

①インバウンドに対する受入基盤の強化

②環境収容力を踏まえた量から質への転換

③星空保護区認定の PR と星空保全の継続

3. 事業の方向性

(1) 観光誘客プロモーション事業

※一括交付金事業

(事業概要)

県外の主要都市及びターゲット地域に出向き、観光イベント、映画祭、その他催事に出展し、石垣島の観光魅力を対面プロモーションする。プロモーションの年間計画、ターゲット設定や実施方法については、石垣市観光交流協会ははじめ観光関係団体と連携して取組む。

また、プロモーションに活用するツールの作成、メディア媒体との連動PRや誘客イベントを開催することで、誘客需要の喚起を図る。

さらに、国際線の安定就航のための催事やプロモーションについても本事業にて行う。

(課題、背景、必要性、活動目標)

好調な観光需要の安定化、新規開拓を推進するうえで、発地サイドに向いて、本市の観光魅力や観光コンテンツを継続してプロモーションする必要がある。また、プロモーションの効果を上げるためにも観光地としてのブランディングが課題となる。主な必要事項として、①提供航空座席及び宿泊施設の安定化②観光入域ボトム期におけるプロモーション③本市とゆかりのある地域やターゲットエリアを絞り物産等のPR素材を活用したプロモーション④観光関連団体と連携したプロモーション⑤あたらしい旅のイメージやブランディングの創出⑥クルーズ船誘致促進のための受入基盤の強化。

国際線の活性化のために、台湾・香港・上海・韓国等の東アジア圏を主要な開拓市場と設定するが、通年運航する台湾・香港路線の安定化を図るために欧米圏域も視野にしたエアポートセールス及び誘客プロモーションを行う必要がある。更に、ボーダーツーリズムによる本市を経由地とした、国境周遊観光の推進を図り、航空会社の収益確保並びに路線確保に努める。国際線の新規路線開拓のためには、前提として国際線ターミナル及びランプの拡張は必須の条件となる。

(期待される事業効果、成果目標)

- ・閑散期 11月・2月期の入域観光客数を2%増
- ・繁忙期 7月・9月の入域観光客数を5%増

(2) 観光地受入基盤強化事業

※一括交付金事業

(事業概要)

星空観光を目的の一つとした観光誘客を図るため、星空学びの部屋や南の島の星まつりなど、星空資源の広報事業を推進する。また伝統行事などを活用した、文化観光の推進や、クルーズ船受入強化のための、クルーズ船受入事業（クルーズ船観光案内所等の運営）を行う。

(課題、背景、必要性、活動目標)

星空保護区認定を受け、そのPRと活用が課題となっているが、星空学びの部屋や南の島の星まつりなどとの連動した取組も必要である。南の島の星まつりのライトダウンについては、改めて島民の協力体制構築が課題となっている。年々寄航回数が増えているクルーズ船であるが、より一層の誘致のために、引き続き初寄航の際の歓迎セレモニーの実施や、観光案内所を設置による利便性向上とリピーター創出に繋げる。一方クルーズ船客に対する2次交通やマナーに関しては課題が多いことから、関係部署や関係事業者と協議を重ね、必要な対策を行っていく。

(期待される事業効果、成果目標)

- ・ 星空学びの部屋来場者数：4,300 名
- ・ 南の島の星まつりの来場者数：3,000 名
- ・ クルーズ船寄航回数：117 回以上

(3) 南ぬ島空港観光案内所運営事業

※一括交付金事業

(事業概要)

本市の玄関口となる石垣空港ターミナル内において、国内外からの旅行者を対象とした観光案内サービスを実施する観光案内所を設置して観光情報の発信を積極的に行うことで、本市観光窓口としての受入環境の強化と向上を目指す。

(課題、背景、必要性、活動目標)

安定した観光案内及び安心感を提供することで、観光地としての信頼度を高め、観光受入の基盤とする必要性がある。

(期待される事業効果、成果目標)

旅行者からの問い合わせや苦情を収集して、その内容を観光施策に反映する機能。また、観光案内従事者を確保することによる雇用創出と観光人材の育成効果。

- ・ 利便性が確保されたかを含め、当該事業のあり方を検証する。※満足度 80%以上

(4) 外国人観光客受入観光外国語講座事業

※一括交付金事業

(事業概要)

多言語人材育成を目指し、外国語講座（英語・中国語・広東語）を実施する。

(課題、背景、必要性、活動目標)

今後ますます外国人観光客入域客数が増えていくことが見込まれる中で、多言語対応人材の育成確保が課題となっていることから、観光従事者を中心に、宿泊や飲食などにおいて想定される実際のシチュエーションを意識した講座内容により、より実践力を身につけてもらうための外国語講座を実施し、顧客満足度の向上及びリピーター獲得を目指す。

(期待される事業効果、成果目標)

- ・ 受講者数最大定員 126 名（全言語）
- ・ 講座開催数（英語：20 回 中国語：20 回 広東語：4 回）

(5) 石垣市美ら星ゲート構築事業

※一括交付金事業

(事業概要)

離島ターミナル内にプラネタリウム施設を整備し、石垣島を星の島としてブランディングする上での象徴的役割を担う施設を目指す。石垣島の美しい星空を保全し、また独自の星文化を継承していくためにも、子供達を中心に市民の星空への関心、興味を惹きつける映像コンテンツの上映やイベントなどを実施する。また、天候に左右されにくい全天候型観光施設として、また、石垣八重山観光の期待感を創出する観光案内所としての役割も果たしていく。

(課題、背景、必要性、活動目標)

星空保護区、星空学びの部屋、南の島の星まつり、また、天文台との連携が重要となる。施設の収益性確保が、一番の課題となるが、旅行会社との連携や、民間ノウハウにより様々な趣向を凝らしたイベント、人々を惹きつける魅力ある映像コンテンツ上映により誘客を図る。

(期待される事業効果、成果目標)

- ・来客数：年間 18 万人

(6) 星空ツーリズム事業

※離島活性化推進事業

(事業概要)

星空保護区認定を受け、「星の島」として観光ブランディングを行っていく中で、星空 PR のためのツールの制作、星ツーリズムの推進と、ルール作りに取り組む。

(課題、背景、必要性、活動目標)

星空保護区認定を取得したが、その PR と活用が課題となっている。星空保護区の PR ツールとして、HP を開設し、星空保護区及び美しい星空の PR と、光害や星空保全について啓発を図る。また協議会を立上げ、協議会に加盟している星空ツーリズムの事業者などを積極的に紹介し、星空ツーリズムの推進を図る。協議会においては、「星空保護区」利用や活用のためのルール作りを行い、「星空保護区」の価値保全と乱用の防止を図る。

(期待される事業効果、成果目標)

- ・星空ツアー体験者数 11,000 人
- ・星空ツアー実施事業者数 30 事業者

(7) 観光客に向けた情報発信強化事業

※離島活性化推進事業

(事業概要)

国際線の定期就航化や、クルーズ船の寄航回数の増加により、外国人観光客の入域客数は年々増加しているが、多言語による、情報、案内表示、人材の不足もあり、十分な観光案内と観光消費に結びついていない現状があることから、既存の WI-FI 環境を拡充し、ICT 技術を活用した、多言語による観光情報発信の強化を図る。

(課題、背景、必要性、活動目標)

既設 WI-FI スポットに加え、市街地や、川平湾の増強、新たに新港バース、野球場、運動公演周辺などの 9 から 10 の WI-FI スポットを追加整備し、アプリなどの ICT 技術の活用により、多言語による観光情報発信を強化する他、災害時の情報発信にも活用する。また、事業効果の検証として、観光客を対象にアンケート調査を行う。

(期待される事業効果、成果目標)

- ・アンケート調査による観光客の満足度 80%以上
- ・アプリのダウンロード数 10,000 以上

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	観光誘客プロモーション事業	H24 ～ H33	年間を通じた観光誘客のために、観光情報の発信及び観光プロモーションイベントなどに取り組む。	○観光誘客PR業務	入域観光客数対前年度比+3%	観光誘客の年間での平準化を図り、観光需要の安定化を確保する。そのために観光動態調査等による戦略的な誘客事業を推進する。	
1	③	観光地受入基盤強化事業	H26 ～ H33	観光地としての満足度を向上させリピーター層を増やすために、満足度の向上や観光ブランドの構築等に取り組む。	○星空資源広報業務 ○南の島の星まつり補助	○星空学びの部屋の来場者数:4,300人 ○南の島の星まつりの来場者数:9,000人	『石垣市観光基本計画』に基づき、観光まちづくりの課題解消と推進施策を本事業において取り組んでいきたい。	
1	④	南ぬ島空港観光案内所運営事業	H25 ～ H33	本市の玄関口となる新石垣空港ターミナル内において、国内外からの旅行者を対象にした観光案内サービスを実施する。	観光案内人の配置 3名	平成30年度の案内対応件数:50,000件	本市玄関口での観光案内人による接遇力を高めること、また案内所に付加価値を図れるよう推進したい。	
1	⑦	石垣市民会館設備機能強化事業	H25 ～ H33	島内外のアーティストを及びMICE等の団体による多くの公演の誘致に繋げるため会館設備を機能強化し、良好な環境を提供しやすい施設として整備する。そのことにより、それら公演及びアーティストのファンをイベントツアーで誘客し島の魅力をアピールすることでリピーターとしての新たな観光客誘致活動を行う。	非常用発電機の機能強化	非常用発電機の機能強化完了	平成34年度の成果目標を以下の通りとする。 島外のイベント会社等が主催する公演数:5件 (今後のスケジュール) 平成31年度:音響設備機能強化工事 平成32年度:音響設備機能強化工事 平成33年度:照明設備機能強化工事	
7	⑧	専門人材育成事業	H28 ～ H33	観光や教育に関し専門的な技術や知識を持った人材の育成を目的として各種講座を開催する。島内において教員採用試験対策講座を開設し、多くの採用試験合格者を輩出させ、教育を担う人材の育成を図る。	○外国語講座の開催 ○一般・教職教養、専門教科試験対策講座の開催	○外国語講座(英・中・広東語)を受講する市民:25名 ○小学校教員採用試験合格者数:10人以上 ○中学校教員採用試験合格者数:4人以上	平成33年度まで事業を継続し、講座の内容をより充実していく。	